

# 日中友好新聞

## 府連通信

2008年11月号  
 日本中国友好協会大阪府連合会  
 〒530-0013  
 大阪市北区茶屋町10-6  
 阪急北ビル4階  
 TEL06-6372-8131  
 050-3413-6491  
 FAX06-6372-8132  
 郵便振替口座  
 00970-5-8978  
 E-mail:jcfa@jst8.so-net.ne.jp  
 ホームページ  
<http://www005.jp.pp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/>

### 新入会員を迎えて08年定期西支部総会開く

### 太極拳や中国旅行なども企画・会員二割増を

西支部定期総会が十月五日、大阪府連・文化センターで開催され、この一年間の総括と新年度の取り組みなど議案討議を行いました。

の応援のちがい」などの発言があり、新年度は全会員が参加できる行事を企画し、五十名を超えた会員の二割増を目標に奮闘することになりました。

役員改選では新事務局長に平松悦雄さん、新会計監査に浜田

文男さんが選出されました。2008年度西支部役員

支部長・松原弥寿夫、副支部長・原久仁寿、事務局次長・植田智子、幹事・市村祥三、稲田雪男、恒岡正勝、尾中妙子、小林明美、山田美恵子、松岡尚、会計監査・林英子

新役員を選出したあと、近くのホテルで、新入会員の歓迎をかねて、昼食懇親会を行ない交流を深めました。

### 奈良支部準備会・学習会に40名が参加!

### 中国の経済状況やチベット問題の真相を学習

奈良支部準備会主催の「中国事情学習会」が十月十日、奈良県文化会館にて開催され、二十数年ぶりの日中の行事というこ

とで、奈良県各地から四十名の方が参加しました。奈良市で学んだ思いに出に触れながら、奈良に日中の組織を作ることの重要性を述べた後、中国の各地域の経済状況や8月にチベット自治区を調査訪問した体験や、現地撮影された写真「泥にまみれた靴で」を鑑賞しとチベット族の一種の階級差別が広まっている



奈良市で学んだ思いに出に触れながら、奈良に日中の組織を作ることの重要性を述べた後、中国の各地域の経済状況や8月にチベット自治区を調査訪問した体験や、現地撮影された写真「泥にまみれた靴で」を鑑賞しとチベット族の一種の階級差別が広まっている



会場では、日中カレンダーの販売もあり、多くの方が購入されました。今後も、奈良に正式に支部が完成されるまで頑張りましょうと、世話人一同、決意を新たにしました。

### 京劇の姫路公演

日中友好協会が招請して、全国公演中の「北京風雷京劇団」の姫路公演が行われました。自ら孫悟空の役で出演する松岩团长以下十四名の俳優陣が熱演、アクションを主体にした構成と、一部字幕も使用して、京劇の魅力を分かりやすく表現しました。



大阪から渡辺会長をはじめ観劇しました。

### 今年も年末恒例の日中カレンダーを

毎年好評の、日中カレンダーを販売しています。府連財政強化のためご協力をお願いします。日中カレンダーは一本、1200円です

連絡先：大阪府連06-6372-8131



### 09年干支色紙・年賀状きりえ教室

初心者の方でも二時間後には『作品』を持ち帰ることができます。会費1000円・材料費は500円～600円

- 11/21(金)18:30～ 西支部主催
- 11/25(火)14:00～ 『年賀状』
- 12/8(月)14:00～ 『干支色紙』

会場：日中文化センター

詳細は大阪府連へ06-6372-8131



# チベットでの暴動はなぜ起きたのか

## 大西広 京大教授が緊急出版

大西広京大教授が六月に緊急出版した、現場からの少数民族問題『チベット問題とは何か』はなぜ起きたのか？ マスコミが報道しない矛盾の真相に迫ると、十月に奈良支部準備会が開催した学習会での講演レジュメ『偏見なく中国と付き合うことの重要性』一八月五輪期間と九月にチベット、ウイグル自治区を訪問して一からの紹介です。大西教授はレジュメの始めの項で、

『北京オリンピックも「無事」に終わったことから、チベット問題への関心も弱まっているが、その関心の弱まりは問題の解決を意味しているわけではもちろんない。チベットでの暴動が一部暴力分子による計画的なものであっても、それに同調するチベット族が多数いたということであって、それなしにあれだけの規模の暴力行為は組織できなかったというのである。

つまり、それだけの行為に多数のチベット族が動員されてしまいうまに、日常の漢族への反感が蓄積しているということであって、こうした「現場」の矛盾の存在、その原因の解明・解

られている。

そして、その「社会関係に内在する矛盾」として私が主張してきたことは、企業家精神とその力量に長けた漢族が大量に流入することで、急成長する観光収入の多くが、漢族企業家に吸い上げられていること、そして、現地チベット族の多くが、その漢族企業家の下に従属する労働者となつて、一種の階級格差が広まっているということであつた。

そして、実際の現状を「調査」したいと、私はこの八月に

### 中国加工食品の現状と職場の関係は 地産地消と自給率の向上を

中国の食品で一番なじみの深い食品はと問われれば、誰しもが、ギョーザと答えるぐらい知られていて、そのギョーザに農薬のメタミドホスを使用されていたことは記憶に新しいと思います。しかしこれは一部分の問題であり、それより重要なのは中国国内の労働問題と関連はないのかと言う事です。

低賃金や労働不安の雇用情勢が続く中で、労働者の待遇に問題があるとすれば、それなりに解決の糸口として対策を取る必要があり。農作物を作る農民やそれを加工して販売する現

地の企業も大変な迷惑であると共に、企業倒産や失業に追い込まれる恐れがあります。もし原因がそこにあると仮定すれば、これを防ぐには労働者の雇用安定と、待遇の改善が求められます。

有機リン系のジクロロボスは、日本でも殺虫剤として使用されています。今回のインゲンへの農薬混入事件は、原液に近い3万5千倍の濃度です。ギョウザ事件と同じように、袋に傷が確認された事は、現地の可能性か日本に問題があるのか、何のためにと言う疑問は残ります。

しかし残留農薬と言うような問題ではありません。明らかに恣意的に起きた事件です。だからと言って輸入食品が全て汚染されているという事ではありません。恣意的に特定の食品に混入されたという事は、他の製品には混入の可能性は、非常に少ないということになります。

一部で中国から食品の輸入をストップさせたらと言う人がいますが、日本のスーパーの陳列棚は空になる現実を知った上で論議なのでしょうか。日本の食料自給率四〇％と言う現実を真剣に見つめてください。これは輸入商社と安い物に飛びついた消費者が招いた結果なのです。地産地消で農家を大事に育てましょう。(常任理事 松原弥寿夫)

青海省チベット族地域とチベット自治区に入り、よりリアルにその実態を知ることができた。本稿はそこで得た追加的な情報を紹介し、私の基本的な考えを再論することを目的としている。』

と述べ、『チベット問題とは何か』の中で統計資料を使って、少数民族問題の本質を詳しく展開しています。

#### 『チベット問題とは何か』

かもがわ出版 1260円

著者・大西広 京大教授

大学院・経済学研究科教授、

日中友好協会本部常任理事

#### 日中大阪府連基金 募集のお願い

ここ数年、日中大阪府連の財政状況は厳しくなつてきています。このままでは、一時的に活動資金が不足し、運営に支障をきたします。

八月の常任理事会で会員の皆様に日中大阪府連基金をお願いすることを決めました。目標まであと少しですぜひ、ご協力願います。

募集金額 三百万円  
一口 一万円

(五年間)

無利子でお願いします)

八月六日・日中大阪府連常任理事会

#### 第89期中国語講座・開講中

中国人との日常会話ができることをめざしています。

会員・学生割引があります。

(週一回・二時間・6ヶ月20回受講)

受講料・44000円 入学金・18000円

二科目キャンペーンで50%OFF、3科目以上もOKです

\*授業の見学は無料で二科目までならOKです。

\*プライベートレッスンも随時受付中です。